

部活動などの活躍

《バレーボール部》

ジュニアオープン汐入大会

第3位
荒川区一年生バレーボール大会
第2位

《陸上競技部》

第8回スポクラEKIDEN inしおいり 中学生女子の部

第2位
○○○○さん(1-1)、○○○○さん(1-2)、○○○○さん(1-4)、○○○○さん(1-4)
女子1区 区間賞 ○○○○さん(1-1)、女子2区 区間賞 ○○○○さん(1-2)、
女子4区 区間賞 ○○○○さん(1-4)、男子4区 区間賞 ○○○○くん(1-4)

《バスケットボール部》

第1回荒川区1年生大会女子の部 **優勝**

《実用数学技能検定》

3 級 ○○○○くん(3-1)、○○○○くん(3-2)、○○○○くん(3-2)、○○○○くん(3-2)、○○○○くん(3-4)、○○○○くん(2-1)、○○○○くん(2-2)、○○○○くん(2-3)
4 級 ○○○○くん(2-1)、○○○○くん(2-2)、○○○○さん(2-3)
5 級 ○○○○さん(1-1)、○○○○くん(1-3)、○○○○くん(1-4)、○○○○さん(1-4)
6 級 ○○○○くん(1-1)、○○○○さん(1-3)



1・2年バレーボール部の皆さん



南千住マイスターのコーナー

1987(昭和62)年には、国鉄民営化によりJR東日本の駅になりました。2015(平成27)年3月には上野東京ラインが開業して品川まで乗り入れるようになり、ますます便利になりました。2017(平成29)年のJR南千住駅の1日の平均乗降客は16,990人のはりります。常磐線は、東京と常磐・東北地方を結ぶ大動脈としての役割を担っています。

毎日、多くの人利用する南千住駅。南千住駅は、JR常磐線、菅田地下鉄日比谷線、つくばEX(エクスプレス)線の3駅が営業しています。その中で最も歴史が古いのがJR常磐線です。常磐線南千住駅は1896(明治29)年、当時の日本鉄道(株)の駅として開業します。

この路線は田端〜土浦間(土浦線)を主に常磐炭田から産出される石炭輸送を目的にしています。その後1898(明治31)年、日本鉄道は田端〜岩沼(宮城県)間を全線開通させました。このときは、現在の山手線を経由して東海道線に通じるよう、田端駅が起点でした。南千住駅からは「隅田川貨物駅」につながる支線が分岐しており、重要な役割ももっていました。起点が田端だったため、上野発着の列車は田端駅でスイッチバック(進行方向を変える)方式で運行していました。1905(明治38)年、三河島〜日暮里間が開通し、田端駅でのスイッチバック運行が解消し、上野に直接乗り入れられるようになりまし。三河島から日暮里にかけて路線が不自然にカーブしているのはこのためです。翌1906(明治36)年には日本国鉄道が国有化され、さらに1949(昭和24)年には日本国鉄道(国鉄)が発足し隅田川駅とともに国鉄の駅になりました。

1962(昭和37)年には不幸な事故も起こっています。南千住〜三河島間で起こった「三河島事故」です。脱線した貨物列車に乗客を乗せた電車が衝突、乗客が避難し、線路上を移動していたところに別の電車が進入して跳ね、160人が亡くなり、296人がケガをするという大惨事でした。

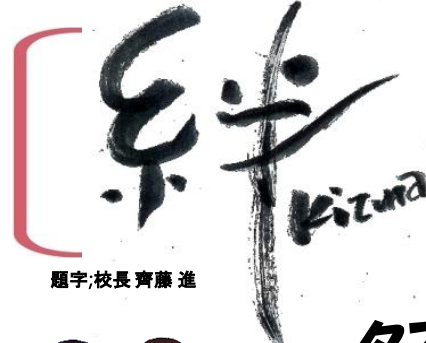
1987(昭和62)年には、国鉄民営化によりJR東日本の駅になりました。2015(平成27)年3月には上野東京ラインが開業して品川まで乗り入れるようになり、ますます便利になりました。2017(平成29)年のJR南千住駅の1日の平均乗降客は16,990人のはりります。常磐線は、東京と常磐・東北地方を結ぶ大動脈としての役割を担っています。



南千住駅 常磐線特急「ときわ」

『南千住駅 ⑦JR常磐線』

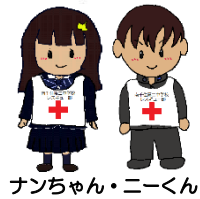
南千住の交通と産業 2000



題字:校長 齊藤 進



学校だより
平成31年1月
第91号
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

タスキをつなぎゴールを目指そう

～一人一人が**チーム南二**の駅伝選手になって～

校長 齊藤 進

新年を迎え生徒は元気に学校生活をスタートすることができました。今年もどうぞよろしくお願ひします。

さて、1月2日、3日に毎年恒例の**第95回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)**が行われました。今年も感動のドラマが繰り広げられました。往路は東洋大学、復路は青山学院大学が優勝しましたが、東海大学が大会新記録とともに初の総合優勝の栄冠を手にしました。このように手に汗握るデッドヒートが繰り広げられTV平均視聴率は歴代最高の31.4%で最高視聴率は37.7%を記録しました。



箱根駅伝でゴールテープを切る、東海大最終10区走者の郡司選手

東海大学の3年生は高校駅伝のトップランナーが集まった黄金世代と呼ばれ、毎年優勝候補に挙げられていましたが、そのプレッシャーを両角監督と選手が克服して栄冠を手にしたことは賞賛に値します。どの区間の選手も実に力強く「東海強し」の印象を受けました。来年の駅伝大会は東海大学が連覇するのか、2年連続復路で逆転された東洋や5連覇をはばまれた青山が雪辱を果たすのか、他の大学が立て直してくるのか、さらにはシード権を失った大学が過酷な予選会からどうはい上がってくるのかなど今から楽しみです。



目標に向かって
頑張れ、
三年生！

箱根駅伝から私は多くのエネルギーやパワーをいただきました。この力を受検に向かう3年生に送ります。3年生は目標に向かう駅伝選手なのかも知れませんが、今、3年生は不安な気持ちを抱えながら懸命に目標に向かってがんばっています。そんな3年生には**克己(こっき)「おのれに打ち勝つ」**という心をもってほしいと思います。駅伝選手は仲間とタスキをつなぐために、各 구간を一人の力で走り抜けなくてはなりません。誰の力も借りることなく孤独と闘い、弱気な自分と闘いながら走ります。心の中で3年生に応援の旗を振り続けたいと思います。

さらにいただいたパワーをすべての1・2年生にも送ります。一人一人の生徒が**チーム南二**の駅伝選手となって学級目標や学年目標に向かうとともに3年生から2年生、1年生へとタスキをつなぎ、すばらしい南二中の伝統を引き継ぎながら教育目標の「たくましい人」というゴール目指してテープを切ってほしいと思います。いじめや嫌がらせをしたり、勝手な行いをして横道にはずれてはタスキをつなぐことはできません。繰り上げスタートによりタスキを渡すことができず目標が達成できないことがあるかも知れませんが、しかし一生懸命に走ることが感動を呼び、心のタスキを渡すことができます。次の走者はその心意気を肌で感じて走る勇気を得ることができると信じます。

残り少ない3学期の締めくくりを有終の美で飾るために、そして4月から新入生を迎える新しい年度をすばらしくスタートさせるために、しっかりとタスキをつないでください。
すべての生徒のさらなる成長を期待します。

1日税務署長

税の作文で荒川税務署長賞を受賞した〇〇〇〇さん(3-2)が昨年12月25日(火)に、**荒川税務署の1日税務署長**を務めました。2学期の終業式を終えた後、荒川税務署を訪れた〇〇さんは、松丸憲司税務署長から一日税務署長の委嘱状を交付され、税務署長の業務に必要な印鑑と名刺を贈られました。タスキをかけて署長室の椅子に座り、実際の業務を体験。職員の出勤状況表などの決裁や外部機関との電話対応などの署長業務を行いました。また、署内を巡回し、税務業務の仕事現場を視察したり、各部署の担当副所長と名刺交換をしました。1階の窓口前には、受賞作文が展示されており、手続きや相談に訪れた区民の皆さんがよく目を通して、税金の大切さを感じる機会となっていると説明を受けました。最後に集まった約30人の職員を前に、**受賞作文「私たちは未来の納税者」を職員への訓示として朗読**しました。

1日税務署長を体験した馬場さんは、「税の種類によって部署が分かれ、専門的な業務が行われていることがよくわかりました。税金が私たちが通っている学校をはじめ、身近なものから将来のためのものまでさまざまなものに役立てられていることを知ってうれしかったです。将来の納税者の一人として、自分も社会の役に立つ人になりたいと思います。」と感想を述べました。税務署の仕事体験するたいへん貴重な機会となりました。

荒川税務署長と電子納税システムのイメージキャラクターイータクんと記念撮影。

1日税務署長を体験！

タコあげ大会ボランティア

正月の恒例行事として地域の皆さんに親しまれている、**南千住地区委員会「新春タコあげ大会」**が今年も1月6日(日)に行われました。会場の荒川総合スポーツセンター大体育室には、小学生とその保護者の皆さん合わせて300名以上が集まり、親子や友人同士で楽しくタコ作りに取り組みました。その後、隣接した野球場でタコあげを行い、新年の願いや夢が込められたタコは空高く舞い上り、会場には歓声が溢れました。

南千住二中レスキュー部は、毎年ボランティアとして子どもたちのタコ作りの手伝いを行っており、今年も2年生の10人が参加。昨年12月からタコ作りの練習を重ね、当日は、タコ作りの補助やタコあげの手伝い、会場設営や後片付けなどで大活躍しました。ボランティア参加者の皆さん、お疲れさまでした。



色々な場面でボランティアとして大活躍！

ボランティア参加者の皆さん

自分で作ったタコと一緒に記念撮影。

第4回 ビブリオバトル

図書委員会

図書委員会が開催するビブリオバトルが4回目を迎えました。毎回バトラー希望者も増え、第4回は1年生を中心に2週に分かれ行われることになり、Part1として1年生3名と2年生1名の4名による『本を紹介するバトルゲーム』が1月17日(木)の放課後に開かれました。発表者は5分の持ち時間の中で、好きな本の魅力について発表します。最後に、会場の参加者全員が「一番読みたい本」に挙手して、もっとも多くの人気を集めた本が『**チャンプ本**』となります。今回は1年生の〇〇〇〇くん(4組)が「**のび太の宝島**」、〇〇〇〇さん(2組)が「**スクールカースト 殺人教室**」、〇〇〇〇くん(3組)が「**キノの旅**」、2年生の〇〇〇〇さん(3組)が「**トルストイショートセレクション ミびきのクマ**」について紹介しました。どれも素晴らしいプレゼンテーションで、投票の結果、〇〇さんと〇〇くんの2人が同点となり、ビブリオバトル史上初の決選投票が行われました。そして、**第四回チャンプ本**には、**〇〇くんが推薦した「キノの旅」が選ばれました**。主人公キノがそれぞれまったく異なった文化や文明をもつ都市国家を、モノラドという言葉話す乗物と一緒に旅をする1話完結のファンタジー小説です。「キノの旅」全巻をはじめ、ビブリオバトルに登場する本はすべて図書室にあります。この機会に読んでみましょう。また、1月24日(木)には、1年生各クラスの各クラスで開かれたビブリオバトルのチャンプ本のバトラーが集まりPart2が開催されました。その様子は2月号でご紹介します。

第四回チャンプの〇〇くん

校内アンサンブル発表会

吹奏楽部では、1月26日(土)・27日(日)に開催される**東京都中学校アンサンブルコンテスト**に向けて日々練習を重ねてきました。22日(火)放課後には、4階ホールを利用して、3チームに分かれリハーサルを行いました。発表は**Cチームの「前前世」**からはじまり、**B部門出場チームの「マイ・ホームタウン」**、**A部門出場チームの「組曲アルルの女よりファランドール」**と続きました。会場には大勢の保護者や吹部を引退した3年生、教職員が訪れ、息の合った迫力溢れる演奏に聴き入りました。演奏が終わると、観客席からは大きな拍手が送られ、リハーサルは大成功。当日の健闘が期待されます。

Cチーム

B部門出場チーム

A部門出場チーム

JBKジュニア防災検定®

レスキュー部では、防災に関する学習、訓練を重ねて、防災検定や自由研究などに挑戦し、優秀な成績を収めています。

家族防災特別賞受賞

〇〇〇〇さん(3-4)

上級取得

〇〇〇〇さん(2-3)、〇〇〇〇くん(2-4)、〇〇〇〇くん(2-4)、〇〇〇〇くん(2-4)、〇〇〇〇さん(2-4)

中級取得

〇〇〇〇くん(3-1)、〇〇〇〇さん(3-2)、〇〇〇〇さん(3-2)、〇〇〇〇さん(3-3)、〇〇〇〇さん(3-3)、〇〇〇〇さん(3-3)、〇〇〇〇くん(3-4)、〇〇〇〇さん(3-4)、〇〇〇〇さん(2-3)、〇〇〇〇さん(2-3)、〇〇〇〇さん(2-3)、〇〇〇〇くん(2-4)

初級取得

〇〇〇〇さん(1-2)、〇〇〇〇さん(1-2)、〇〇〇〇くん(1-3)、〇〇〇〇さん(1-3)、〇〇〇〇くん(1-4)

全校総合「立石諒さん講演会」

2012年 ロンドンオリンピック。200m平泳ぎ決勝で北島康介選手を0.06秒差でかわし接戦を制し銅メダルを獲得した立石諒選手。頭上高く掲げられたガッツポーズに日本中が歓喜しました。1月12日(土)の土曜公開授業では、2・3校時の全校総合でオリンピック・パラリンピック教育推進事業の一環として、現在もアスリートとしてスポーツ界のみならず様々な分野で活躍する立石さんをお招きしてお話を伺いました。全校生徒と多くの保護者の皆さんが集まり、会場となったアリーナは活気に包まれました。

立石さんは、中学校三年生ときに見た北島選手のオリンピックでの活躍に感動して、本格的に競泳の練習をはじめました。しかし、北京オリンピックの日本代表にわずか0.16秒差で落選。大きな挫折を味わいます。気持ちを切り替えてもう一度オリンピックという目標に向かって1日のほとんどを練習に費やす日々が続きました。そして、2009年に念願の日本代表入りを果たしましたが、移籍に失敗。練習場所もコーチもない時間が続きました。その時親友に招かれてアメリカへ。再び泳ぐことの楽しさ喜びを感じることができ、日本競泳界への復帰を果たしました。「苦しいときに手を差し伸べ支えてくれる人が本当の友だち」と感じたそう。「何度もの絶望感が自分をここまで成長させてくれた、夢は頑張ったから叶うとは限らないが、成功した人や夢を叶えた人は全員がそれに向かって一生懸命努力をした人だと思う」という言葉が心に響きました。講演後は生徒の質問タイム。競泳についての専門的な質問から、身長を伸ばすコツや試合前に聴く音楽などを尋ねるものまで様々な質問に、笑顔を交えながら答えてくださいました。最後に生徒会長の〇〇〇〇さん(2-4)からお礼の言葉と、生徒会役員の〇〇〇くん(1-1)から花束が贈られました。立石 諒さん、お忙しい中たいへん貴重なお話をありがとうございました。

大盛り上がりの質問コーナー。生徒たちからたくさんの質問が寄せられました。

立石 諒さんプロフィール

4歳より平泳ぎを始める。慶應義塾大学環境情報学部卒業。何度もの挫折と毎日30km以上に上る練習を乗り越え、2012年ロンドンオリンピックに出場。200m平泳ぎ決勝で、北島康介選手を0.06秒差でかわして、銅メダルに輝いた。引退後は、東京オリンピック開催に向けて、各地で講演会を行う一方、競泳界の発展を目指し、スイムイベントを開催したり、テレビ番組に出演するなど多方面で活躍中。



3年生全員と記念撮影。受験に向けて立石さんよりエールをいただきました。

3学期始業式

1月8日(火)に3学期の始業式が行われました。クラスや学年の仲間と久しぶりに顔を合わせ、皆の表情は明るく輝いていました。校長先生からは、**3学期は次の学年に向けて、チーム南二として先輩のタスキをしっかりと引き継ごう**とお話がありました。そして、受験を迎える3年生へのメッセージとして登場したのが「いよかん」。いい予感に満ちた春の訪れに会場が包まれました。



始業式の様子

校歌の指揮・伴奏者が2年生にバトンタッチされました。

全校朝礼や入学式、卒業式などの式典で行われる校歌斉唱の指揮者と伴奏者が**3年生の〇〇〇〇さんと〇〇〇〇くん**から、**2年生の指揮は〇〇〇くん(2-2)、伴奏は〇〇〇くん(2-1)**に引き継がれました。〇〇さん、〇〇くん1年間ありがとうございました。〇〇くん、〇〇くん、これからよろしくお祈りします。



左:新しい指揮・伴奏者
右:中央:2学期の終業式で最後の指揮・伴奏を行う、2人

校内書き初め展・作品展示会

1月9日(水)から南千住二中では、「校内書き初め展」および「作品展示会」を行っています。書き初めは新年の行事として全校生徒が取り組んでおり、今年も新年への願いや抱負が込められた晴れやかな作品が揃いました。各クラスの国語係と有志たちによって学年のフロアや教室の壁面などに展示され、国語科の先生方の審査により、金賞、銀賞、銅賞、そして今年は特別賞として、「あなたにしか出せない味があるで賞」が決まりました。

「作品展示会」では、2年生が美術科の授業で、つぶれた空き缶を紙粘土で再現した「空き缶アート」、3年生が美術科の授業で、好きな国をイメージして描いた「観光ポスター」などが1階のホールを利用して展示されています。書き初め展・作品展示会は1月31日(木)までですが、1階ホールでは今後も展示を行います。公開授業日などの機会に、保護者、地域の皆さまもぜひご参観ください。

なお、これらの中から特に優れた作品は、2月1日(金)~5日(火)の5日間に町屋文化センターで行われる**荒川区立中学校連合作品展示会**に出品されますので、こちらにもぜひ足を運んでください。

3年生「書き初め展」▶



地域の皆さまからの年賀状

今年もレスキュー部へ近隣の皆さまから年賀状が届きました。干支のイノシシにちなんだ絵が描かれたものやレスキュー部員に宛てたメッセージが書かれたものなど、心遣いにあふれたものばかり。「学校だよりを届けに毎月訪ねてくれてありがとう」など感謝の言葉も添えられており、絆ネットワークの活動が近隣の皆さまとの絆を育み、万一のときの心の支えとなっていることが伺え、これからの活動の大きな励みとなりました。

心温まる年賀状を本当にありがとうございました。

